

おはらんど

JA全農えひめ情報

10

2015・October

■特集

平成27年産温州みかん出荷販売対策と消費宣伝計画



▶5代目 近藤嘉郎さん。正面の門には大きな杉玉が下がる

▶妥協しない酒造りが続く



近藤酒造株式会社

代表銘柄 華姫桜（はなひめさくら）
創業 1878年（明治11年）
代表者 代表取締役 近藤 嘉郎
住所 新居浜市新須賀町1-11-46
TEL 0897-37-3351



▲平成27年、全国新酒鑑評会にて2度目の金賞受賞



▲愛媛県酒造組合の統一銘柄酒「しずく媛」。旨みと切れ味が融合する、爽やかな酒

愛媛の酒蔵めぐり



華姫桜

新居浜市で一軒となった蔵元「近藤酒造」は地元こだわりの酒造りをしています。水は県内で唯一選出の、平成の名水百選「つづら淵」と同種の明石山系の湧水、県産酵母、主とする米は市内の契約農家の松山三井、杜氏は5代目の現代表・近藤嘉郎さんです。

平成9年、近藤さんが家業を継ぐべく地元へ戻ると蔵は稼働せず、酒類卸売業を生業としていました。予期せぬ事態に驚き、蔵の再興を模索し3年。自身が杜氏となる事で再開できないか―そこには多くの試練が立ちほだかります。酒造りの大変さを知る4代目の父の反対、周囲は「社長の息子の道楽」と揶揄（やぶ）します。頭を丸め、一人一人に頭を下げ、卸業を終えた後、趣味から携帯電話まで全ての外界を遮断して酒造りに専念します。29歳の杜氏は、酒造組合の先輩の話に耳を傾け、教科書を片手に蔵に泊まり、点滴を打ち、暗中模索・満身創痍で没頭します。ある時は、京都で杜氏をする友が深夜に駆けつけタンクを確認、「大丈夫」の言葉を残し、15分後に早朝仕事へと踵（かかと）を返す等、多くの恩の中で醸した小タンク2本は生涯一度の特別な酒となりました。8年後、全国新酒鑑評会で金賞受賞。「やっと蔵元として同じ土俵に立てた」と近藤さん。

銘柄「華姫桜」は、日本の「桜」、愛媛の「姫」、宴に「華」やぐ酒に由来するも、敷地に倒木しつつも翌年に花を咲かせた桜があり、蔵の復活とも重なります。

あぐり〜ど

October 2015

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



手掘りの里芋の収穫は大変な作業です。掘り起こした芋をカゴに入れるお手伝いをしていた子どもたちもだんだん疲れてきたのかな？ 150cm以上伸びた葉の中にかくれんぼをしたり、日傘のようにかざしてみたり。いつでもどこでも、子どもたちは遊びの天才。でも、もう少しお手伝いをがんばって！ 夕食は芋炊き、煮っころがし、味噌田楽と、ホクホク里芋料理かな？

●表紙：里芋の収穫
はら ふみ(イラストレーター)

※「あぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.178

愛媛の酒蔵めぐり④〜近藤酒造(株)

2

〈特集〉平成27年産温州みかん出荷販売対策と消費宣伝計画
高品質果実の計画出荷、需給調整対策、
効果的な消費宣伝活動を展開します。

6

THE・ねっとわーく

9

統計BOX

10

ふるさと ESSAY VOL.246

愛するあなたの葉っぱ役
佐々木 貴浩さん

12

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉牛バラ肉 (伊予牛「絹の味」)

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

高品質果実の計画出荷、需給調整対策、効果的な消費宣伝活動を展開します。

平成27年産温州みかんの生産予想量（日園連主産県調査）は、全国で約78万8千トン（前年比98%、25年比96%）、愛媛県は約12万8千トン（前年比99%、25年比93%）が見込まれています。また、県内JAの露地みかんの出荷計画量（10月20日時点）は、6万2,116トン（前年比117%、25年比97%）となっています。

今回は、27年産温州みかんの出荷販売対策と消費宣伝対策を紹介します。

27年産温州みかんを めぐる情勢

平成27年産温州みかんの生産予想量は、日園連の9月1日時点の主産県調査によると78万8千トン程度（前年比98%、25年比96%）、愛媛県は12万8千トン（前年比99%、25年比93%）で、適正生産量（全国90万トン、愛媛14万8,660トン）を下回ることが予想されます。しかし

ながら、依然として園地・樹によるバラツキもあり、今後さらに隔年結果の是正に向けた適正着果対策を徹底し、高品質果実生産対策に取り組むことが重要です。

本年産露地みかんの品種別生産予想量は、表年廻りではありませんが、着果量は全体的に少なく、生理落果においても一次落果が多めであったため、昨年に比べて生産量は若干少なくなる予想です。早生みかんの販売価格を左右する極早生の生産量

は、前年をやや下回る予想となっています。今後は栽培管理の徹底による高品質果実の生産、低品位果実の出荷自粛・市場隔離を図るだけでなく、全果協かんきつ部会で協議決定した27年から29年までの3カ年間で、極早生みかんの結果樹面積10%削減目標の必達が重要です。

早生みかんについては、生産量は前年をわずかに上回る予想となっていますが、中生、普通みかんについては、前年を下回る生産予想量と



なっています。市場出荷量については、気象災害等の影響があった昨年に比べ大幅に多くなる予想となっていることから、消費動向を注視しながら、市場別の販売動向を把握した出荷に努めることが重要です。

また、11月中下旬の恒常的な売り悩みとともに、12月中旬以降の供給過剰による荷動きの停滞・価格低迷を回避するためにも、平成27年産露地みかんの出荷販売にあたっては、高品質果実の出荷を基本に出荷時の品質基準の遵守や計画出荷に努めるとともに、市場価格の維持を目的と

した果実需給調整対策事業及び一般消費者を対象とした消費宣伝事業を有効活用し、次年度につながる販売対策を実施します。

なお、27年産露地みかんの京浜市場販売実績（10月中旬累計）は、出荷量が3,460トン（前年比109%）、kg単価が184円（前年比116%）となっています。

販売具体策

【極早生みかん】

極早生みかんの販売は10月末終了を徹底します。ただし、やむを得ず11月に出荷するものについては、確実に糖度11度以上の品質が確保できるものに限定し早期に出荷を切り上げます。低品位果実の市場出荷の自粛、県域の価格維持対策として下等級品の市場隔離を図るため加工誘導対策事業（11月10日までに1,000トンを対象として実施する）を実施・有効活用します。また、全国産地と協調連携しカナダ向けに輸出し国内の価格維持を図ります。

【早生みかん】

早生の販売開始にあたっては、市場残荷量等の販売状況や品質状況を勘案したなかで開始します。11月下

旬の恒常的な売り悩みを回避するため、市場別の販売状況を勘案し販売先の需要に応じた出荷に努めるとともに、スムーズな品種の切り替えを図ります。また、日量出荷量の平準化を図り、祝祭日および休市明けと11月5日、11月26日、12月3日は平常時の20%増以内に抑えます。

県域の価格維持対策として下等級品の市場隔離を図るため加工誘導対策事業（1月31日までに2,500トンを対象に実施）を実施・有効活用します。

【普通温州みかん】

12月中旬以降の需要の落ち込みに対応するため、自主調整を含めた機動力のある出荷計画を実施します。販売店では年末年始無休営業が常態化し、消費の標準化が進んでいることから需要に応じた出荷を実施するとともに、年内に無理した出荷を行わずに年明け販売も視野に入れた出荷計画を策定します。また、年明け販売分は、品質低下のないように貯蔵管理の徹底を図ります。

1月末まで果実需給調整対策事業を継続します。

【各品種共通対策】

精度の高い出荷計画の策定と産地状況の迅速な情報発信を行います。

◆特集：平成27年産温州みかん出荷販売対策と消費宣伝計画

表1 品質基準

出荷時期	糖 度	酸 度
9月	9.0度以上	1.0%以下
10月	10.0度以上	1.0%以下
11月以降	11.0度以上	0.9%以下

※市場到着時目標とし、全国連の品質基準に準ずる

また、品質・階級基準を厳守するとともに、低品位果実は加工仕向け等の市場隔離を行います。

品種・系統の品質特性を踏まえた適期出荷を徹底します。早生の販売開始は、基本的に11月からとし、極早生から早生への切り替えを明確にします。

11月～12月10日における水曜日の販売分は出荷停止とします。

◆対象日…11月4日・11日（休市）・18日（休市）・25日、12月2日・9日（休市）の合計6回

全果協10地域市場出荷計画の旬別前年比を指標として出荷計画を樹立するとともに、選果場ごとの出荷状況を的確に把握し、市場出荷残量を踏まえた計画的な出荷を行います。

また、生産指導部署との連携を密にし、選果・選別・出荷予措の徹底と10地域市場出荷計画を基準として、市場ごとに残荷量・未仕切等の販売状況を加味した出荷量を調整します。

需給調整に基づいた適正出荷量と特別出荷調整の対象期間（11月中下旬）におけるJA別出荷量を遵守するとともに、長期取引契約数量を必達します。

緊急需給調整特別対策事業が発動

された場合は、事業実施方針に基づき価格下落の主因となる恐れのある果実を加工原料に仕向けます。

【階級基準】

出荷階級は2L～S級とします。

【緊急時の対策】

「緊急需給調整特別対策事業」が発動された場合は全果協および県果協の実施方針に基づき実施します。市場価格の急落が懸念され、かつ市場在庫が増加傾向にある場合は、果実販売部会・販売情勢検討会等で協議し、緊急対策を実施します。

効果的な消費宣伝活動で愛媛みかんPRと販売拡大を

27年度も愛媛県産温州みかんの知名度向上および消費拡大を目的に、かんきつ類に精通したSP（セールスプロモーション）レディによる店頭試食宣伝販売を実施します。販促については、販売力の高い店舗の設定や販売時期に強弱をつけるなど販促のあり方を十分精査した上で、効果的な販促活動を実施します。また、店頭販促を行うSPレディの研修会・産地研修会を実施することで愛媛県産かんきつに対する知識をさらに深め、消費者に五感を通じて愛媛

みかんの魅力を訴え、消費拡大を図ります。

また、今年で13年目を迎える幼稚園児および保護者を対象とした「はじめてのみかんむき企画」等の食育活動の実施により、子どもたちに幼少期からみかんを食べる機会・環境を提供し、将来の消費を担う子どもたちに愛媛みかんの魅力発信・消費拡大を目指します。

愛媛みかん大使による消費宣伝・みかんキャンペーンについては、事業の内容を十分精査したうえで、効果的な活動を計画・実施し、愛媛みかんのPR・知名度向上を図ります。

◆消費宣伝事業内容

1. 全国果実生産出荷安定協議会

国産果実に対する消費者ニーズが高品質・少量多品目化するなか、「食生活指針」や「食事バランスガイド」に基づいた「日本型食生活」を推進し、果実摂取の重要性を訴求するため「毎日くだもの200グラム運動」の普及啓発活動の実践、安全・安心な国産果実全体のイメージアップや話題性の醸成・提供、果物の持つ栄養・効能・機能性の周知および全国の果樹産地と一体となった取り



組みを行い、国産果実全体の需要拡大を図ります。また、全国段階・県段階・農協段階の役割分担を明確化し、全国の果樹産地が協調した事業展開を図り、より効率的・効果的な取り組み内容とします。

2. えひめ愛フード推進機構

消費者に4月14日の「オレンジデー」、「オレンジロード」の認知度向上を図るとともに、愛媛県産かんきつ全体のPR及び消費拡大を図るため、効果的なイベントを計画・実施します。

3. 店頭試食宣伝

愛媛みかんの売り場確保・販売数量・売り上げアップを図るため、店舗の状況にあった販促を実施し、より多くの消費者に愛媛みかんのPRを行います。また、シーズンを通じて愛媛県産青果物の売り場を確保してくれる「愛媛協力店」を設定し、愛媛果物の情報発信と消費拡大を図ります。さらに、購買層を絞った取り組みとして、東京都巣鴨地蔵通り商店街縁日「四の市」において、果専門店で愛媛県産かんきつ類の試食販売を実施します。

4. 愛媛みかん大使による消費宣伝

今年で57代目となる愛媛みかん（いよかん）大使を任命し、県内外でのキャンペーン等を通じて、愛媛県産かんきつ類の消費拡大に向けたPRを実施します。また、みかんキャンペーンでは、東京・大阪等の大都市に大使を派遣し、各種イベントへの参加、マスメディア等を巡回訪問し、愛媛みかんの季節到来・キャンペーンの実施を周知するとともに、イベントの記事掲載等を通じた消費宣伝の相乗効果を図ります。

5. 食育活動事業

今年で13年目を迎え、幼稚園・保護者等からも好評の「はじめてのみ

かんむき」企画を継続して行います。

幼稚園児にみかんを自分で剥く行為の啓蒙活動を行い、その保護者にもリーフレット等を配布することにより、健康情報の提供や幼稚園児の健やかな発育には果物が重要な役割を果たすことをアピールします。そして日常生活の中できんきつ類を食べることの習慣付けを行い、旬のおいしい「愛媛みかん」を印象付けて広範な消費拡大を図るとともに、愛媛かんきつ全体のPRを実施します。

6. SPレディ組織強化事業

愛媛産かんきつのより効果的な店頭試食宣伝販売が行えるよう、SPレディの組織強化を行います。温州みかん研修会（100人研修会）では、本年産かんきつ類の生育状況・作柄等の説明会を実施し、産地状況等も把握してもらい産地と一体感を持つて販売できる協力体制を強化します。また、今年度は2年に1度開催しているSPレディ産地研修会を実施し、収穫体験等を通じて産地への理解を深め、消費者への愛媛県産かんきつのさらなる魅力発信を図ります。

THE

ねとわーく

「JAグループ農畜産物消費拡大運動展開中！」

生活 資材課

JAグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部は、来年1月末まで、「JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動」に取り組んでいます。

この運動は、愛媛県産農畜産物加

工品消費拡大運動方針に基づき、良質で安全な県内産「乳製品」の愛用を進めるとともに、地域農業の振興を図り、地産地消の実践を目指すもので、JAグループをあげて毎年取り組んでいます。今年は、らくれんの乳製品1万5,057セットを目

標に運動を進めています。

運動では、菌の健康をまもる乳酸菌「L8020菌」を使用したヨーグルト2種類・19個の乳製品をセットにした「8020セット」(2,000円)、8種・14個の乳製品をセットにした「バラエティーセット」(2,200円)、レアチーズケーキ3種・15個をセットにした「チーズケーキセット」(2,200円)の3アイテムです。

「バラエティーセット」には、らくれんが愛媛大学農学部(愛媛大学農学部の菅原卓也教授は、柑橘果皮の機能性に注目し、柑橘の果皮に多く含まれるノビレチンとβ-ラクトグロブリンの2つのチカラの相乗効果を研究)と共同研究の成果で誕生した「N+(エヌプラス)ドリンクヨーグルト」2本や「8020ヨーグルト」などが入っています。

なお、上期に実施した『えひめみかん・いよかんジュース愛用運動』では、目標の35万ケースを上回る38万1,919ケース(8月末)の実績をあげることができました。格別のご協力をいただきありがとうございました。

今回の運動も、JAグループ一体となって取り組みます。ご支援・ご

協力をお願いいたします。

・・・・・・・・・・・・・・・・

JA全農えひめでは
県内産を中心とした

「食肉加工品」も推進中！

JA全農えひめ生活資材課では、来年2月末まで、良質で安全な愛媛県内産牛・豚肉の地産地消を通じて地域農業の振興を図ろうと、「食肉加工品」の取扱い・消費拡大を推進中です。

取扱商品(セット)は、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の精肉セットやレトルトのカレーセット、愛媛県産豚肉を使用した「豚バラ柔らか角煮」、「豚ロース豚丼」、「ロースハムスライスパック」、「ベーコンスライスパック」、国産豚肉を使用したウインナーなど合計12アイテムを用意し、1万3,027セットを目標に利用を呼びかけています。この機会にぜひご賞味・ご注文ください。

愛用運動商品と食肉加工品のご注文・お問い合わせは、最寄りのJAまたはJA全農えひめ生活資材課(TEL089-905-2715)までお願いいたします。

らくれんのおいしいところを
チョイスしたバラエティーセット

自然の美味しさお届けします。

■R-04 バラエティーセット
参考組合員価格 2,200円 (税込)

- 愛ある生乳ヨーグルト 70g×3(2パック)
- 8020ヨーグルト 110g(2個)
- 8020のむヨーグルト 110ml(2本)
- N+のむヨーグルト 150g(2本)
- リッチ&クリーミーYG 500g(1個)
- 道後赤たまご練上プリン 100g(2個)
- 道後赤たまごプリン 100g(2個)
- 愛あるカスタードプリン 90g×2(1パック)

お口の健康を考える
8020シリーズをセット詰め

■S-07 8020セット
参考組合員価格 2,000円 (税込)

- 8020ヨーグルト 80g(10個)
- 8020のむヨーグルト 110ml(9本)

牛乳屋さんが作ったおいしいレアチーズケーキをセット詰め

■R-05 レアチーズケーキセット
参考組合員価格 2,200円 (税込)

- 牛乳屋さんのレアチーズケーキ プレーン 55g(5個)
- 牛乳屋さんのレアチーズケーキ イチゴ 55g(5個)
- 牛乳屋さんのレアチーズケーキ みかん 55g(5個)

2015 JA愛媛農畜産物消費拡大運動 JAグループ愛媛

「11月13日から3日間 豊富な品揃えで『JA石碑大展示ご予約会』開催！」

生活 資材課

県内JAとJA全農 えひめ生活資材課は、JA石碑事業の普及拡大と墓石の円滑な建立を目的に、10月から12月末まで、『秋期石碑予約推進キャンペーン』を実施中です。

特に11月13日から15日までの3日

間は、実際に触れて・見比べて・納得して選んでもらえるよう、(株)イフイ本社(松山市石手寺前)をはじめ、西条店・今治営業所・大洲店・宇和島店の県内5か所の特設展示場で、JA組合員限定の『JA石碑大展示ご予約会』を実施します。

各展示場では、良質で厳選された

JA組合員の皆さまへ

JA石碑大展示ご予約会

11/13(金)・14(土)・15(日) 3日間限りの特別ご招待会
[10:00~17:00]
セール期間中、JA組合員様には特別価格でご提供します。

石のふるさと大島から心を込めて産地直送。

墓石・仏壇が同時に欲しいという方は！
「セットでお得!!」
墓石 + 仏壇
価格は当日発表!!

「同時開催!!」
新作 お仏壇市
ご予約会

ご来場の方には粗品プレゼント!!

墓石・仏壇ご成約の方に
電気ケトルをプレゼント!!

100万円以上ご成約のお客様には、お礼の品として抽選会!!
●ハンドブレンダー
●布団乾燥機

JA/JA全農えひめ 協賛/JA全農えひめ指定店 株式会社 イフイ

JA組合員の皆さまへ

JA石碑大展示ご予約会

JAの墓石・仏壇は歴史がある、実績がある、だから安心。

お打ちお品の墓石を一家に
現品特別大特価

各種お仏壇もご最優価格にて!!
10%OFF 10%OFF

外国産材 & 国産材
見比べてみませんか?

年間2,000基! 墓石建立の実績

同時開催 お仏壇市 ご予約会

マンションや小スペースなどにぴったりの「上置タイプ」や、窓の横が光る「縦型」から、洋館にも合うモダンな「東洋風タイプ」まで数多く取り揃えてあります。

地域に合った墓石のリフォームご相談ください

想いを込めて、親人と「意志入れ」。

地震対策も安心。
風石免震ゲル
安震はかもり

「大島石」

愛媛の銘石「大島石」など各種石碑を豊富に取り揃え、墓石の完成時の形がイメージできるような納骨舞台を含めたセット墓から小物まで大量に展示販売します。セール期間中は、JA組合員の特別価格で提供するほか、数量限定の現品特別大奉仕品もあります。また、専門スタッフが墓や仏壇・仏具に関する質問・相談も受け付けます。

なお、展示会ご来場の方にはもれなく粗品をプレゼントするほか、墓石・仏壇をご成約の方には電気ケトルをプレゼント。さらに100万円以上ご成約の方にはパナソニックの「ハンドブレンダー」や「布団乾燥機」が当たるプレゼント抽選会を用意し、多数のご来場をお待ちしています。

チラシ配布及びテレビCM等を通じてご来場を呼び掛けています。展示会に関するお問い合わせ・来場申込みは、最寄りのJAにご連絡をお願いします。

「鮮度にこだわった新商品 「朝採りたまご」の販売開始

JAえひめ
フレッシューズ㈱

JAえひめフレッシュフーズ㈱は、8月14日、宇和島市弁天町のきさいや広場内にあ
るJAえひめ南特産品センター「みなみくん」で、新商品「朝採りたまご」の販売を始めました。
「朝採りたまご」は、宇和島市寄

松の同社直営農場で魚粉や米油などを加えた専用飼料で育った鶏が生んだ赤玉で、早朝8時頃に採卵した卵を隣接の宇和島GPセンターで選卵選別後、直送便で店頭へ届けるため、採卵後2時間程度で店頭に並ぶ「極限まで鮮度にこだわった卵」（同社担当者）。黄身の色が濃厚で卵白

部分は飴色で全体が盛り上がっており、コクのある味わいの特徴です。
販売初日、店頭に設置した特設売り場では、担当者がその場で割った卵を皿に盛って展示し、黄身・卵白の盛り上がりや色の違い等をアピール。子どもたちには黄身に爪楊枝を突き刺しても崩れないということを体験してもらい、視覚で訴えながら、チラシを配布して「ぜひ卵かけごはん食べて」と呼びかけた。来店客からは、「こんなに刺しても崩れない。すごい」「プルンプルンで美味しそう」「（生卵をかける郷土料理の）鯛めしで食べたい」と好評で、用意した40箱が1時間余りで売り切れ、同社担当者は、「来店客の関心も高く、好スタートが切れた」と今後の販売に手応えを感じていました。

同社は10月末までの毎週土曜日、「みなみくん」で目玉焼きの試食販売（数量限定）を実施し、商品PRとファン拡大に力を入れています。また、同日から地元料理店への納品も始まっており、南予地区の料理店などに販路を拡大していく方針。今後は売れ行きに応じて、現在6、100羽の「朝採りたまご」用の鶏も増産していく計画です。

同商品は、30個入り化粧箱入り1、200円（税込）、毎週金曜日と土曜日に同店で1日40箱を限定販売しています。



統計BOX

農地を有効利用し、美しい農村風景を次世代へ — 平成26年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率調査結果から —

農 地は、食料の安定供給にとって不可欠なものであると同時に、農業が継続されることで国土の保全、水源の涵養などの多面的機能が発揮されることから、国民の大切な財産です。しかし、農地は、宅・道路用地等への転用や荒廃農地の拡大等により減少傾向にあります。

そこで今回は、農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率についてみていきます。

**全国の耕地利用率は
前年並みの91・8%**

平成26年の全国の農作物作付(栽培)延べ面積(田畑計)は414万6,000haで、前年に比べて2万1,000ha(1%)減少しました。

作物別の割合をみると、水陸稲(子実用)が157万5,000ha(38%)で最も多く、次いで飼肥料作物101万9,000ha(25%)、野菜53万400ha(13%)の順となっています(図1)。

この結果、全国の耕地利用率は、前年並みの91・8%(田が92・5%、畑が91・0%)となりました。

**愛媛県は果樹と水稲(子実用)
で約8割を占める**

愛媛県の農作物作付(栽培)延べ面積(田畑計)は4万4,600haで、

主に果樹及び水稲(子実用)の面積が減少したことから、前年に比べて600ha(1%)減少しました。

作物別の割合をみると、果樹が1万9,000ha(43%)で最も多く、次いで水稲(子実用)1万5,000ha(34%)、野菜5,170ha(12%)の順となっています(図2)。

この結果、愛媛県の耕地利用率は、87・1%(田が92・3%、畑が82・1%)となり、前年に比べて0・3ポイント上昇しましたが、長期的な推移をみると、50年前の昭和39年

図1 平成26年農作物作付(栽培)延べ面積の作物別割合(全国)

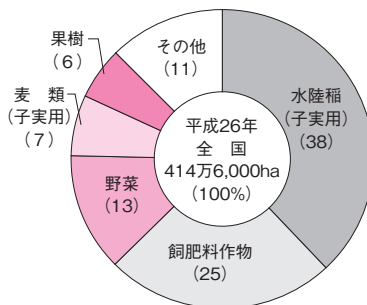


図2 平成26年農作物作付(栽培)延べ面積の作物別割合(愛媛県)

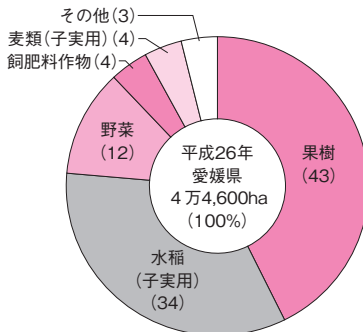
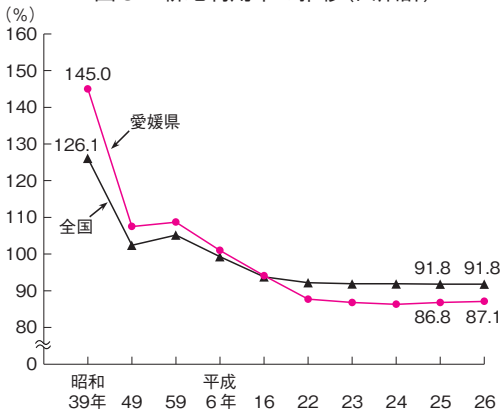


図3 耕地利用率の推移(田畑計)



※「耕地利用率」とは、耕地面積を「100」とした作付(栽培)延べ面積の割合をいいます。

中国四国農政局愛媛支局

食料自給率の向上を図り、農業・農村の多面的機能を維持・発揮するためには、経営所得安定対策等を活用した二毛作の推進、農地の面的集積等により、農地を有効利用する取組を強化することが重要です。

私たちが住んでいる土地には、その風土や環境に適した農産物が育ち、身近でとれた農産物は新鮮です。一人一人が地元でとれる食材を選ぶことが、地域の農業を応援し、農地を守ることに繋がります。

に比べて57・9ポイント低下し、全国より早いペースで低下しています(図3)。



愛するあなたの葉っぱ役

平成23年6月の設立から4年。我が社は次世代農業者の先導者を目指すべく農業の活性化に取り組んできた。そんな中、乾坤一擲の思いで結成させた農業アイドル「愛の葉ガールズ」が思わぬ反響を呼び、現代社会の若者が農業に興味を持ち始めている実感がしている。唯一の1期生メンバー、「愛の葉ガールズ」の副リーダーはこう語る。

今から9年前、小学校3年生の私の夢は女優さん。夢に向かってひたすら毎日の稽古に没頭していた。お陰で先生には「あなたはきっと大物になる」と言われ、当時は希望の光に満ち溢れていた。しかし現実はどう甘いものではなく、中学校3年生の夏：受験を理由に挫折してしまった。後悔しても後悔しきれないくらい悔やみ、沢山泣いた。「できることならもう一度、チャンスがほしい」。そんなとき、翌年

の8月、一通のメールが私の運命を変える。「愛媛に農業アイドルの愛の葉ガールズっていうのができるんだって！応募した？」と、突然友達からのメール。私は必死になって調べた。検索すればすぐに出てきた。そこには「二期生募集」の文字が。迷わず応募し、結果は合格。2度目の挑戦、もう一度チャンスを掴むことができた。しかし、実際に入ってみると農業研修の日々。毎週のように畑に入って土を耕し、雑草を引き抜く。女優を目指して応募した私にとっては少し苦痛で時には辞めたいとも思った。「なんでこんなことしなきゃいけないんだろう...」。時間は刻々と流れてゆき、気付けば12月。「愛の葉ガールズ」に入ってすぐお世話話し始めた水菜が食べ頃になった。まだ土が付いた水菜を綺麗に洗い、お店に出すようと、そうでないものを、1つ1つ分けていく。選別作業の終わ

佐々木 貴浩

TAKAHIRO SASAKI

農業生産法人hプロジェクト(株)代表。昭和43年2月26日生まれ、新居浜市出身、松山市在住。県立新居浜商業高等学校卒業後、松山総合開発(株)、(株)大阪レジャー開発勤務を経て、平成5年にエム・コーポレーション(株)設立など、20年にわたりレストランやバーなどの飲食業に携わる。平成23年6月、義父の栽培する野菜をきっかけに、おいしい野菜の差別化を図ろうと、農業生産法人hプロジェクトを設立。愛媛のおいしい食の全国PRに力を注ぎ、農業と別の視点から農業をアピールし若者の就農増加を目指すなど、ユニークな活動で注目を集めている。

◆農業生産法人hプロジェクト(株)

<http://www.ehime-hpro.com/>



▲出演直前!! タレントの気持ちを盛り上げ、士気を高める

り、農園長が「頑張ったご褒美」と余った水菜たちを少しプレゼントしてくれた。家に持ち帰ると父がさつそくはりはり鍋にして出してくれた。

「…水菜って、こんなにも美味しかったっけ」。

溢れる達成感と充実感。そのとき私は初めて自分が育てたものを食べ、今までになくいろいろの感動を覚えた。それからというもの、徐々に農業に興味を持つようになり、今ではみかんの摘果作業やナスの誘引、トラクターの操縦など農園長に教わりながら少し難しい作業にも挑戦させてもらっている。また、農作業を通じて人の『まごころ』というものを知った。「いつもお手伝いしてくれてありがとう」と言ってくれる農家のおばあちゃんの笑顔、同じ場所でも育て方にひと工夫加えると味が変わるおみかん。普段何気なく食べているもの1つ1つに『まごころ』が込められていることを。

さて、日本の食はユネスコに登録されるほど誇りある財産なのにも関わらず、現在日本の食料自給率は39%。生涯の職を農家にする若者がおらず、都会へ流れている。彼女たちも農業に触れる前まではこの魅力を知ること



▲「愛」媛の「葉」っぱ役になりたい! 「愛の葉ガールズ」のコンサート風景

かったと思う。きっと今の若者たちも、「農業を知らないだけ」なのではないか。だからこそ実際に感じた農業の魅力を発信して安心安全で美味しい食を沢山の方に届けたい。「農業って素晴らしい!」って一人でも思ってもらうことが農業アイドルとしての使命なのだ。そのために今私たちにできること、「歌」と「踊り」を通じて「アイドルの力」で「未来の農業」を伝える。未だ見ぬ次世代農業者の姿を信じて、先導者たちは日々歌って踊って耕す。

●愛媛県民間流通地方連絡協議会

平成28年産麦の購入希望が販売予定数量を上回る

J A全農えひめ食糧生産課は、7月31日松山市のえひめ共済会館で愛媛県民間流通地方連絡協議会を開き、生産者と実需者が平成27年産麦の販売見込数量や28年産麦の販売予定数量を確認するとともに、愛媛県産麦の生産・販売の課題解消に向けて協議しました。

同会議は、愛媛県産麦の円滑な流通をめざし毎年開催しています。今回は、精麦や製粉、醤油・味噌関連の実需者と生産者・J A・県関係者ら44人が出席しました。

28年連続生産量日本一（平成26年産実績）の愛媛県産はだか麦は、28年産の販売予定数量4,588 tに対して購入希望数量は5,468 t。26年産から購入希望数量が販売予定数量を下回る「ミスマッチ」状況となっていたが、2年ぶりに購入希望が販売希望数量を上回りました。

J A全農えひめ食糧生産課は、「実需者が大麦など代替品目への転換等を進めたためミスマッチとなっていたが、大麦との価格差がなくなりのはだか麦が使いやすくなったこと、味噌に加え押し麦など主食用需要の拡大が要因」と分析しています。

28年産小麦は、販売予定数量478 t、購入希望数量557 tとなっています。

一方、27年産はだか麦は、3月から4月にか

けての低温により凍霜害や断続的な降雨による湿害が発生したため大きく減収し、販売見込数量は3,501 tで当初予定数量4,787 tを下回りました（予定数量比73%。7月24日現在）。小麦も同様に予定数量比92%となりました。

J A全農えひめは、需要に即したはだか麦生産に向けて作付目標面積1,700ha（26年産実績1,640ha）を設定し、安定供給と品質向上・生産拡大を図るため30年産からは「マンネンボシ」「ヒノデハダカ」を新品種「ハルヒメボシ」に全量転換する計画です。精麦・加工業者の協力で実施した「ハルヒメボシ」の加工適性試験では「白度が高く、粒ぞろいが良いので期待できる」と高評価を得ており、今後は種子確保に全力をあげていきます。



●平成27年度愛媛県畜産振興連絡協議会総会

畜種の枠を超えて連携し、希望の持てる畜産業めざす！

愛媛県畜産振興連絡協議会は、8月25日、松山市のJ A愛媛で平成27年度総会を開き、27年度事業計画を決めるとともに、TPPに関する特別決議を採択しました。

同協議会は、肉牛・酪農・養豚・採卵養鶏の生産者団体が、畜種の枠を超えて畜産の振興に必要な調査や関係機関等との連絡・協議、陳情・要請活動などを行っています。

27年度事業方針では、将来の畜産業に希望が持てる体制の構築、防疫・衛生管理の徹底による安全・安心な畜産物の安定供給、地域社会と調和のとれた畜産経営、所得経営安定対策への参加促進などに取り組めます。

事業計画では、「愛媛県畜産振興議員連盟」との意見交換会を開催して経営安定等に向けた要望等を行うほか、レインボーフェスティバルで販売促進活動を行います。



●リジェール松山焼肉の日イベント

8月29日＝「焼き肉の日」に焼肉40kgを振る舞いPR

J A全農えひめ畜産部は、8月29日の「焼肉の日」にあわせて、松山市南堀端町のリジェール松山屋上ビアガーデン特設コーナーで、愛媛県産ブランド肉の伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の焼肉をその場で焼いて無料で配布するイベントを行いました。

同イベントは、「焼肉の日」を通じて愛媛県産ブランド肉の美味しさをPRし消費拡大につなげようと昨年に続き実施しました。

会場ではJ A全農えひめ職員と畜産SP（セールスプロモーション）レディが、「焼肉の日のイベントです。愛媛の伊予牛「絹の味」と「ふれ愛・媛ポーク」を食べてください」と、ビアガーデン来場者に伊予牛「絹の味」黒毛和牛ロース肉と「ふれ愛・媛ポーク」（肩ロース）の焼肉計約40kg分を振る舞いました。また、のぼりやポスターを掲示したほか、各テーブルに「8月29日焼肉の日キャンペーン」のリーフレットを置き、イベントをアピールしました。

来場者は「焼肉の日があるとは知りませんでした」「こんなイベントの日に来られてよかった」と笑顔で焼肉を受け取り、「柔らかくて美

味しい」と好評でした。

J A全農えひめ畜産部は、5月から9月まで毎月29日の「肉の日」に、同ビアガーデンでブランド肉の料理を配布したほか、今年度もリジェール松山地下1階の農協グリルでは、県内産肉を使ったランチメニュー（500円。30食限定）も実施中です。

畜産部担当者は、「こうした肉の日イベントを通じて、愛媛の誇るブランド肉の美味しさをたくさんの方に知ってもらい消費拡大につなげたい」と話しています。



●夏休み親子で学ぼう地産地消体験ツアー

親子でピーマン・菌床椎茸収穫体験&料理づくりを楽しむ！

えひめ愛フード推進機構とJ A全農えひめ、J A愛媛野菜生産者組織協議会は、8月26日、「夏休み親子で学ぼう！地産地消体験ツアー」～野菜と菌床しいたけ内子コース～を実施しました。

地産地消体験ツアーは、愛媛産農産物を親子で見て、触れて、食べる体験を通して、地産地消の意義を学んでもらおうと実施したもので、当日は松山市近郊の小学生親子5組12人が参加しました。

J Aえひめ中央の小田地区を訪ねた一行は、J Aえひめ中央小田ピーマン部会の吉本明光さんから栽培管理の状況や収穫方法を学び、袋いっぱいにピーマンを収穫。さっそく採れたてのピーマンにかぶりついた参加者は、「初めて丸ごと食べたけど美味しい」と言いながら笑顔

を見せていました。

また、ピーマンの集荷場の見学、菌床椎茸の収穫作業も体験したほか、とったばかりのピーマン・椎茸やえひめ野菜を使って昼食づくりに挑戦。悪戦苦闘しながらも、楽しそうに野菜を調理していました。昼食後には食育講座も行われ、親子で地産地消の意義を学びました。



●JA愛媛米麦生産者組織協議会第16回通常総会

需要に応じた生産と品質・収量の向上に取り組む！

JA愛媛米麦生産者組織協議会は、7月27日、JA愛媛で第16回通常総会を開き、27年度事業計画を決めました。

27年度計画では、「えひめ米」の需要に応じた生産と品質向上対策に取り組むこととし、需要の安定した「コシヒカリ」「あきたこまち」「ヒノヒカリ」を中心とした作付誘導、「愛の夢」「松山三井」「しずく媛」は用途別需要に応じて生産誘導を進めます。「にこまる」は県内の平坦地域を中心に計画的な導入を進めるとともに、先進地事例調査を通じて、26年産「ヒノヒカリ」に次ぐ食味ランキング「特A」評価の獲得に向けて取り組みます。また、前年より削減となる生産数量目標相当の水田は、主食以外の水田活用米穀（備蓄米・飼料用米等）の作付けを推進し、現行の耕作面積のフル活用を進めます。1等比率70%以上を目標に、「土づくり」など高温対策・品質改善対策の徹底を図ります。

生産量日本一のはだか麦は、1,700ha、小麦200haを目標に、関係機関が連携し担い手を中心に品質向上や確実な生産数量の確保と安定供



給体制の確立に取り組むとともに、新品種「ハルヒメボシ」の中期的な生産導入と高品質生産に向け、優良種子の生産確保や加工適性試験を継続実施します。

品質・収量の向上に向けて、「トータルアグリリード事業」に参画し、適地適作や異常気象に対応した優良品種への転換、土壌診断に基づく土壌改良や適正施肥などに取り組めます。

●「いよっくら」親子農業体験ツアー

親子で大根や梨の収穫体験を満喫

JAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっくら」運営協力会は、力を入れている食農教育活動の一環として、8月24日、西予市野村町大野ヶ原と伊予市中山町を回る「親子農業体験ツアー」を実施しました。

このツアーは、収穫体験等を通じて農業や食の大切さ、地元農産物の美味しさや魅力を伝えようと毎年開催しており、今年で7年目。

今回のツアーには、伊予市近郊の親子13組・32人が参加。標高1,000mを超える四国カルスト・西予市野村町大野ヶ原の黒河高茂さんの畑で、大根を収穫しました。黒河さんから栽培の状況や「大根が折れないようにまっすぐ上の方へ抜いて」というアドバイスを受け、子どもたちは一斉に畑に入り、力を込めて大根を引き抜き、「やったー。大きいのがとれた」と大きな



歓声をあげていました。

一行は、放牧されている牛にえさをやるなど高原の涼しい風を受けながら大野ヶ原の自然を満喫したほか、伊予市中山町でも梨狩りを楽しみました。

●JA愛媛野菜生産者組織協議会&JAうま

エミフルMASAKIで芋炊き400食無料配布イベントを開催し、里芋「伊予美人」をPR！

JA愛媛野菜生産者組織協議会（事務局＝JA全農えひめ）とJAうまは、9月19日、松前町のエミフルMASAKIで、出荷が本番を迎えた愛媛の里芋ブランド「伊予美人」をPRしようと、「芋炊き」約400食の無料配布イベントを行いました。

JAうまから大鍋を持ち込み、「伊予美人」約20kgと鶏肉、にんじん、ごぼう、ねぎ等の野菜を加えて作った「芋炊き」の配布イベントは、今回で7年目。午前11時からの配布を前に長い列ができるなど好評で、約400食分が1時間ほどでなくなりました。

芋炊きを食べた方は、「粘りがあって美味しかったです」と笑顔で話したり、おかわりする子どもなど秋の企画を満喫していました。

事務局は、「愛媛の里芋『伊予美人』の柔らかくねっとりとした食感や濃厚な甘み＝味のよさ・特徴を消費者に知っていただき消費拡大につなげたい」と意気込んでいました。

JA全農えひめは、愛媛県農業試験場（現・愛

媛県農林水産研究所）で育成された里芋品種（愛媛農試V2号）を「伊予美人」と命名（商標登録）し、今年で出荷10年目を迎えました。

県内では、JAうまを中心に、JA周桑・JA西条・JAおちいまばり・JA新居浜市、JA松山市、JAえひめ南で「伊予美人」を栽培。近年、新規作付け等面積拡大に力を入れてきたことから、27年産は愛媛県全体で栽培面積109.3ha（前年比109%）、出荷量は約2,620t（前年比127%）を見込んでいます。品質の統一を図りながら県内JAとともに店頭試食宣伝活動や各種イベントを通じて、愛媛の里芋＝「伊予美人」のブランドPR・定着に取り組んでいます。



●第40回愛媛県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト 最優秀賞に渡邊さん（サンライズ56SS）

「第40回愛媛県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」が、9月6日、西予市の(株)JA東宇和サービス城川中央SSで開かれ、最優秀賞に渡邊直樹さん（JA愛媛たいきサンライズ56SS）、が選ばれました。

このコンテストは、愛媛県JA-SSチェーン本部が、JA-SSのCS（顧客満足）の追求とブランド化に向け、接客・点検技術の向上によるSS店舗の活性化をめざし毎年開いています。

今回はフルSSの部のみ実施し、7SSから10人が出場し、模擬客を相手に、洗車と新規会員の推進やオイル等の不具合箇所など課題への対応、接客サービス内容、ユーザー印象度、タイムなどを審査。総合得点で順位が決まりました。

最優秀賞の渡邊さんは、「指導していただいたみなさんのおかげ。今日は時間内にミスなくこなすよう心がけました。サンライズ56SSの連覇ができてよかった。これからも業務に活かしていけるよう日々の接客業務に精進します」

と笑顔で意気込みを話していました。

優秀賞には、小玉泰之さん（(株)JA東宇和サービス城川中央SS）、土居原志保さん（同）が選ばれました。

事務局のJA全農四国石油事業所は、「自然な笑顔で大きな声も出ており、接客サービスのレベルは着実に上がっている。お客様目線のサービスを徹底し、組合員と利用者の信頼を獲得していきたい」と話しています。



▲キャプション＝最優秀賞の渡邊さん(中央)と優秀賞の小玉さん(左)、土居原さん

NOW NOW

COOKING

今月の素材

牛バラ肉(伊予牛「絹の味」)



絹のような肉質が特徴の安心ブランド
深みのある味わいで、食べごたえアリ



指導／学校法人愛媛学園（愛媛調理製菓専門学校）大佐古 正子先生

牛バラ肉の中華煮込み

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約839kcal

牛バラ肉（ブロック）	600 g
水	800cc
みりん	大さじ1
砂糖	大さじ2
醤油	80cc
八角	1個
生姜（薄切り）	1片
白ネギ（青い部分）	1本分
粒コショウ	小さじ1/2
塩	2つまみ
水溶き片栗粉	大さじ2～
青梗菜	1株
塩	少々

〈作り方〉

- ① 牛バラ肉は一口大に切り、熱湯で茹で、冷水にとる。
- ② 鍋に①とAを入れて火にかけ、沸けばアクをとり、落とし蓋をして弱火で1～2時間煮込む。
- ③ 肉が柔らかくなれば、生姜、白ネギを取り出し、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ④ 器に③を盛り付け、塩茹でした青梗菜を、食べやすく切って添える。

※圧力鍋を使用すれば、作り方②は、Aの水400cc、醤油40ccとし（他は同量）、弱火で約15分。

牛バラ肉とエリンギ、里芋の味噌煮

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約613kcal

牛バラ肉（ブロック）	400 g
エリンギ	1パック
里芋	中4個（約200g）
白ネギ	1本
麦味噌	大さじ2
赤味噌	大さじ2
砂糖	大さじ2
酒	大さじ1
みりん	大さじ1
醤油	小さじ1
ポリ袋	2枚

〈作り方〉

- ① 牛バラ肉と里芋は一口大に切り、エリンギは4cmの輪切り、白ネギは斜め薄切りにする。
- ② ポリ袋にAを入れ、よく混ぜ合わせる。
- ③ ②に①を入れて軽くもみ、空気をしっかり抜いて真空状態にして口を縛り、沸いた湯で約30～40分程、蓋をして煮込む。

※〈作り方〉②は、ポリ袋を2枚使い、分量を2等分して作る。

牛バラ肉とサツマイモとキノコの甘辛炒め

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約415kcal

牛バラ肉（スライス）	200 g
サツマイモ	1本（約300g）
椎茸	4枚
シメジ	1パック
サラダ油	適量
ニンニク（みじん切り）	1片分
生姜（みじん切り）	1片分
唐辛子（輪切り）	3～5個
鶏ガラスープ	300cc
砂糖	大さじ2
醤油	大さじ3
水溶き片栗粉	大さじ2～
ゴマ油	大さじ1/2
青ネギ（小口切り）	2本

〈作り方〉

- ① 牛バラ肉は5cm幅に切り、サツマイモは1cmの拍子木切りにする。
- ② 椎茸は5mmの薄切り、シメジは石づきを取り、ほぐす。
- ③ フライパンに油を熱し、Aを炒めて香りを出し、①、②を炒め、Bを加え、少し煮込む。
- ④ サツマイモに火が通り、スープが少なくなれば、水溶き片栗粉でとろみをつけ、ゴマ油を入れる。
- ⑤ 器に盛り付け、青ネギをちらす。

のんで! あつめて!

あけてうれしい POMお楽しみ宝箱プレゼント

応募締切 **2015年 12/31** まで

対象商品の応募マーク **5枚1口**で
宝庫の中に **色んな商品が ザクザク!**

1,000名様に当たる!!

オリジナルクオカード & POM商品詰め合わせ

※応募マーク5枚1口で応募できます! ※応募マークが1口足りない場合は応募できません。

買って!! 飲んで!! 集めて!!

キャンペーンの情報は **こちらから**

■ ホームページアドレス <http://www.ehime-inryo.co.jp>

対象商品

- ポンジュース 1Lペットボトル
- ポンジュース 500mlペットボトル
- アップルジュース 1Lペットボトル
- グレープジュース 1Lペットボトル
- フルーツミックスジュース 1Lペットボトル

キャンペーン対象応募マーク

こちらの応募マーク5枚1口で応募できます!

※応募マークが1口足りない場合は応募できません。本キャンペーンの対象外とさせていただきます。



株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地

TEL: 089-923-1527 FAX: 089-924-0304



はじめませんか？ 省エネ住宅でエコライフ。

JAオリジナル住宅

エコキャンペーン

2015年4月1日～12月30日

※2016年3月31日までに着工可能、及び床面積30坪以上の方に限ります。

Age

JA home "Age" Series
21世紀の安心、エイジ

【エイジ】

**Es
mind**

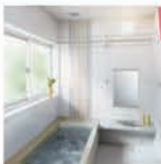
【イーズマインド】

期間中、ご成約の方に、
**エコキュート460ℓ
プレゼント！**

光熱費がお得！地球環境にも
やさしい給湯システム。



リフォームも
「基本は安心」
JAホームで。



バス

〈こんな方に〉
この際、快適な
システムバスに
したい。タイルが
ひび割れて、
水漏れが心配。



キッチン

〈こんな方に〉
IH、食器洗い等、
機能を充実
させたい。
流し廻りを
清潔に保ちたい。



トイレ

〈こんな方に〉
汲取りから
水洗便所に
したい。
座って楽な
洋便器にしたい。

新築から増改築まで、なんでもお気軽にご相談(無料)下さい。

お気軽に近くのJAホーム窓口までお問い合わせ下さい。

一貫したトータルサービスで安心をお届けします。

まずはお気軽に
お電話ください。
専門の担当者が
ご相談に
お伺いします。

ご相談

JAホームの営業

ご契約

施工

完成お引き渡し

アフターサービス



JA全農えひめ 生産資材部 施設農住課
TEL(089)948-5473

お近くのJA窓口へ

JA/JA全農